

## 全道クラス別ダンス競技会シニア部門 2/14 感染防止策チェックリスト（主催者用①）

### 全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（競技会の受付場所等）に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障害者や高齢者など参加者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくともひと月以上）を定めて保存しておくこと
- 競技会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

### 競技会参加募集時の対応

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること（競技会当日に書面で確認を行う）
  - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスク・マウスシールド・フェイスシールド等飛沫防止グッズを持参すること  
（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際には飛沫防止グッズを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 競技会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

### 当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し、入場を制限することも考えられる）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- 参加者が距離を置いて並ぶことができるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスク・マウスシールド・フェイスシールド等を着用させること
- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 当日の受付のほか、イベント前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること
- 参加者から以下の情報の提出を求めること

氏名 リーダー名 \_\_\_\_\_ パートナー名 \_\_\_\_\_  
 参加当日の体温 リーダー（ ） パートナー（ ）

※参加前2週間における以下の事項の有無

- 平熱を超える発熱 リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状 リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難） リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- 嗅覚や味覚の異常 リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- 体が重く感じる、疲れやすいなど リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触 リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 リーダー（有・無） パートナー（有・無）
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合 リーダー（有・無） パートナー（有・無）

## 全道クラス別ダンス競技会シニア部門 2/14 感染防止策チェックリスト（主催者用②）

### 競技会参加者への対応

#### □マスク・マウスシールド・フェイスシールド等飛沫防止グッズの準備

- 参加者が飛沫防止グッズを準備しているか確認すること
- 参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間については飛沫防止グッズの着用を求めること（競技中はマウスシールド、フェイスシールド、マスクのいずれかを選択し着用すること）

#### □競技会参加前後の留意事項

- 競技会前後の審査員会議及び役員長会議やミーティング等においても三つの密を避けること
- 会話時に飛沫防止グッズを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

### 競技会主催者が準備すべき事項の対応

#### □手洗い場所

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

#### □更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障害者の介助を行う場合を除く）
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをすること

#### □洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）

#### □飲食（会場内での食事は一切禁止）

- 会場内での食事は一切禁止されているので厳守させること
- 飲みきれなかった飲み物等は持ち帰るようにさせること
- 持ち帰り用のゴミ袋を用意すること

#### □観客の管理（無観客にて開催）

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応を取ること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

#### □競技会会場

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

#### □ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密封して縛り、ごみを回収する人はマスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

## 全道クラス別ダンス競技会シニア部門 2/14 感染防止策チェックリスト（出場選手用）

### 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（競技会当日に書面で確認を行う）
  - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスク・マウスシールド・フェイスシールド等飛沫防止グッズを持参すること  
（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際には飛沫防止グッズを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 競技会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 競技会前後のミーティングや懇親会等においても三つの密を避けること
- タオルの共用はしないこと
- 会場内での食事は一切禁止、持ち込まないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク、栄養ドリンク等は持ち帰ること

### 競技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
  - 競技を行っていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること  
特に控え室での着替え時など（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
  - 動きの激しい種目の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
  - マウスシールド・マスク等を着用していない場合には十分な距離を空けるよう特に留意する必要がある  
（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
  - 競技中の接触を避けるような位置取りに注意すること
  - 競技中はマスク、マウスシールド、フェイスシールドのいずれかを選択し着用すること  
（※）マスクの着用は可であるが熱中症対策の観点から十分に注意が必要、フェイスシールドは視界や動きに支障をきたすことが考えられることより北海道ボールルームダンス連盟ではマウスシールド着用を推薦  
（※）マウスシールドは当日受付にて2個セット100円にて販売（出場選手分の用意有）
  - 会場内に全選手の自席を用意、タイムテーブルを確認し出場セクション前には自席にて待機
  - 選手は基本、控え室か会場内自席に待機、廊下にての整列、点呼はしない
  - 次ラウンド進出への結果発表は司会のコールにて行うため、自席待機にて結果発表を待つ
  - 結果の張り出しはしない
  - 出場セクション以外の競技を自席にて観戦できるが、声を出しての応援は禁止
  - 基本、控え室か会場内自席に待機、廊下にて寄り集まる行為は避ける
- 前半の競技のみに出場されるカップル（SL・スーパーシニア）は競技終了後、速やかに退館。  
決勝に進出された場合は前半表彰式に参加したのち、速やかに退館
- 後半の競技に出場されたカップル（SAS・SBS・SCS・GS）は競技終了後、速やかに退館。  
決勝に進出された場合は後半表彰式に参加したのち、速やかに退館